

I. 次の楽譜はモーツアルト作曲、弦楽四重奏曲第21番K.575の一部分です。下記の問い合わせに答えなさい。

1. ①～⑧の音程を答えなさい。また、①～④の転回音程になるように、下の楽譜の上方に全音符を書きなさい。  
 なお、転回音程について、複音程は単音程に直して答えること。

(音程)

①		②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	

（転回音程）

2. 次の(a)(b)で示される音階を、調号を用いて右の五線に主音から上行形で書きなさい。

(a) ⑦を下属音とする和声短音階

(b) ⑦を導音とする長音階

3. 次の(c)(d)で示される音階を、調号を用いずに右の五線に主音から上行形で書きなさい。

旋律短音階は上行形と下行形の両方を書くこと。

(c) ⑦を属音とする旋律短音階

(d) ⑦を第III音とする短調の導音を主音とする長音階

II. 次の楽曲について、下記の問い合わせに答えなさい。

1.(1)～(5)の和音について、種類と転回形を答えなさい。

(1) 種類\_\_\_\_\_ 転回形\_\_\_\_\_ (2) 種類\_\_\_\_\_ 転回形\_\_\_\_\_

(3) 種類\_\_\_\_\_ 転回形\_\_\_\_\_ (4) 種類\_\_\_\_\_ 転回形\_\_\_\_\_

(5) 種類\_\_\_\_\_ 転回形\_\_\_\_\_

2. 次の文中の〔 〕に調名を、《 》には関係調の名称を、{ }には和音の種類を書き入れなさい  
 (短調は和声短音階とする)。

a. (1)を主和音とする調の《 》はト短調である。

b. (3)を属和音とする短調の平行調は〔 〕である。

c. (5)を下属和音とする調のVIの和音は{ }である。

d. (5)を属和音とする長調の調号を下の五線に書きなさい。また、その調を同主調とする調の下属調は

〔 〕である。

III. 次の楽語の意味を右から1つずつ選び、その番号を書きなさい。

sempre	
animato	
adagio	
ritenuto	
marcato	
rusuticana	

- 意味：
- 1. 歩くような速さで 7. 常に
  - 2. ゆるやかに 8. すぐに
  - 3. 各音をはっきりと 9. 次第に遅く
  - 4. 音を短く切って 10. ただちに遅く
  - 5. 生き生きと 11. 悲しげに
  - 6. 愛情を込めて 12. 素朴に

IV. 次の旋律ABの調名を答えなさい。また、楽曲Cは転調していきます。(い)～(に)の部分の調名をそれぞれ答えなさい。

A

B

C *Un poco agitato*

A \_\_\_\_\_

B \_\_\_\_\_

C (い) \_\_\_\_\_ (ろ) \_\_\_\_\_

(は) \_\_\_\_\_ (に) \_\_\_\_\_